

2007年10月26日



各位

会社名 双日株式会社
代表者名 代表取締役社長 加瀬 豊
(コード番号 2768 東証第1部 / 大証第1部)
問合せ先 広報部長 稲田 隆
電話番号 03 5520 3404

当社子会社(日商エレクトロニクス株式会社)の通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である日商エレクトロニクス株式会社(コード番号9865)は、2007年4月26日に公表しました2008年3月期(2007年4月1日～2008年3月31日)の通期業績予想について、添付資料のとおり修正を行いましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2008年3月期の通期連結業績予想に関して、本件は当社の連結業績予想を変更するような影響はありません。

(添付)

日商エレクトロニクス株式会社の開示資料

以上



平成 19 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 日商エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長 辻 孝夫
(コード番号 9865 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経理部長 堀江 敏伸
(TEL . 03 - 3544 - 3780)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 26 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（ 1 ）通期連結業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	68,000	3,000	3,200	1,800
今 回 修 正 予 想 (B)	58,000	2,800	3,000	1,700
増 減 額 (B - A)	10,000	200	200	100
増 減 率 (%)	14.7	6.7	6.3	5.6
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	62,142	2,223	2,030	3,451

（ 2 ）通期個別業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	63,000	2,900	3,000	1,700
今 回 修 正 予 想 (B)	53,000	2,900	3,000	1,900
増 減 額 (B - A)	10,000	-	-	200
増 減 率 (%)	15.9	-	-	11.8
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	57,225	2,012	2,144	3,346

2. 修正の理由

(通期連結業績予想数値の修正)

売上高につきましては、ソリューション/サービス関連部門においては、通信キャリア向けビジネスが通期にわたり順調に推移する見込みであります。エンタープライズ向けビジネスは、IT基盤構築に関連するシステムソリューションの提供に注力するものの、販売競争が激化しており期初の見通しを下回る見込みであります。エレクトロニクス関連部門においては、引き続き大手エレクトロニクスメーカ、PCメーカおよび量販店向けハードディスクドライブの販売がPC買い換え需要の減少やベンダーの販売政策の変更等の影響を受けるものと思われ、更には下半期より世界的な供給不足が懸念されており、期初の見通しを大幅に下回る見込みであります。その結果、期初の予想に比べ14.7%減の58,000百万円となる見込みであります。

利益につきましては、保守サービスが堅調に推移していること、高付加価値ビジネスの強化による高収益体質への転換を進めていること、更には営業効率の改善に努めていることにより、引き続き利益率が改善しております。しかしながら、売上高減少の影響および一部の連結子会社の業績が上半期に低調に推移したことにより、期初の予想に比べ営業利益は6.7%減の2,800百万円、経常利益は6.3%減の3,000百万円、当期純利益は、5.6%減の1,700百万円となる見込みであります。

(通期個別業績予想数値の修正)

売上高につきましては、上述の通期連結業績予想の修正理由によるものであり、期初の予想に比べ15.9%減の53,000百万円となる見込みであります。

利益につきましては、売上高減少の影響はあるものの保守サービスが堅調に推移していること、高付加価値ビジネスの強化による高収益体質への転換を進めていること、更には営業効率の改善に努めていることにより引き続き利益率が改善しており、営業利益および経常利益は期初の予想のとおり、それぞれ2,900百万円、3,000百万円となり、当期純利益は、11.8%増の1,900百万円となる見込みであります。

以 上

前述の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。